洞爺湖町立虻田中学校
校舎移転についての報告

令和6年7月

洞爺湖町立虻田中学校校舎移転に係る地域協議会

《目次》

1	はじめに	1
2	会議概要	2
3	校舎移転に係る地域協議会の考え方	10
4	虻田中学校校舎移転に係るアンケート調査結果【資料1】	12
5	虻田中学校教職員の意見【資料2】	20
6	洞爺湖町立虻田中学校校舎移転に係る地域協議会委員名簿	23
7	洞爺湖町立虻田中学校校舎移転に係る地域協議会設置要綱	24

《はじめに》

虻田中学校校舎移転に係る地域協議会（以下、「地域協議会」）は、老朽化した虻田中学校校舎の現状を鑑みた生徒の安心・安全な教育環境の確保と早期の小中一貫教育の導入を目指すため、虻田小学校校舎内に虻田中学校を移転することについて検討を進めてきた。

これまでの3回の会議においては、

- ・ 虻田中学校校舎の現状と課題及びこれまでの経緯について
- ・ 各委員からの意見や課題等の整理
- ・ 児童生徒及び保護者アンケートの結果や教職員意見の分析
- ・ 課題等の解決方策についての協議と整理

といった内容で協議を進めてきた。

以下、各回の会議概要とともに、地域協議会としての考え方をまとめ、報告書とするものである。

今後、この度の地域協議会における議論を踏まえ、次代を担う子どもたちにとって安心・安全な教育環境の整備・充実に努めるとともに、持続可能で魅力ある教育活動が展開されるよう体制整備を進めることを期待するところである。

《 会議概要 》

1 第 1 回

(1) 日 時 令和 6 年 5 月 29 日 (水) 18 時 30 分から

(2) 場 所 洞爺湖町役場 3 階 第 2 委員会室

(3) 参加者 12 名

(4) 内 容

- ① 開会
- ② 委嘱状交付
- ③ 教育長あいさつ
- ④ 委員紹介
- ⑤ 正副会長選出
- ⑥ 議事

ア 報告事項

(ア) 虻田中学校校舎移転に係る打合せ会議後の状況報告について

(イ) 協議事項

a 虻田中学校の校舎移転に向けた協議について

b 児童生徒・保護者向けアンケートの実施について

(5) その他

(6) 閉 会

(7) 会議概要

事務局から、虻田中学校校舎の現状と課題、及び校舎移転に係るこれまでの経緯等についての説明があり、これらを踏まえ、生徒にとって安心・安全な教育環境を整備するための課題等を洗い出し、次の段階に進むための方向性について検討を行った。

【委員からの主な意見】

(ハード面)

- ・ハード面について、どうしても必要であれば増設も考えていかななくてはならない。
- ・教室の広さについて、中学校よりも小学校の教室が広いことを考慮すると、教室は何とかなるのではないか。
- ・虻田中学校が入ってきて、校舎の部分は一応収まるがメンテナンスは必要である。
- ・トイレの改修は必要である。
- ・駐車場をどうするか。狭いと思う。

- ・ 虻田小学校も古くなっている。いずれ大規模修繕が必要であれば、計画的に早めに実施したほうが良いのではないか。
- ・ 現在の虻田中学校の生徒は古い校舎で過ごさなければならない。移転するから修繕をしないのではなく、直すところは修繕が必要である。
- ・ 特別支援学級については間仕切りをして2教室にする必要がある。
- ・ 引越しについて、廃棄するものを整理する必要がある。
- ・ 改修時期をどの期間に実施していくのか。勉強の環境を壊さないよう配慮が必要である。
- ・ 数年後に今度は温泉小を移転することを考えたら、修繕は1回で済ませた方がよいのではないか。

(ソフト面)

- ・ 3校の管理職で、今後のスケジュールについて、現実的な部分を考えていかななくてはならない。
- ・ 協議会と並行しながら、作業部会をつくり3校で検討していく必要がある。
- ・ 体育館とグラウンドの使用に関して、小中学校で住み分けが必要になってくるのではないか。事前の資料等があればと思う。
- ・ 部活動と少年団の関わりを調整していかななくてはならない。

(心配される点)

- ・ 温泉小学校の子どもたちへの配慮は必要である。
- ・ まずは、中学校の移転が先で、その後に、温泉小をどうするか、検討していかななくてはならない。
- ・ 温泉小でのアンケートでは、移転に関しては賛成意見の方が多い。しかし、温泉小の周りの自然環境を活かした教育はとても魅力的であるので、少数ではあるが反対の意見もある。
- ・ 温泉小が虻田小の校舎に入るとなると、温泉小を廃校にしなければならない。また、その手続きや閉校の式典をどうするか等を考慮するとあと2、3年はかかると思われる。
- ・ お金をかけずに良いことをしようとする自体が、難しいのではないか。
- ・ ハード面がしっかりしないとソフト面に余裕が生まれない。
- ・ 増設の範囲で中学校生活を始めることについては、町民の理解を得るのは難しいかもしれない。
- ・ 魅力ある学校をどう作っていくかが大事な視点かもしれない。

- ・小中一貫教育を進めていくことで魅力ある学校になっていくのではないだろうか。
- ・温泉小と虻田小が一緒になっても、1学年は40人以下となる。
- ・中学校の先生が虻田小学校へ見に来てもらう予定である。
- ・現在の虻田小学校の6年生と虻田中学校の1年生は30名程度である。
- ・令和25年で、洞爺湖町は4,500人位になる試算がでている。
- ・洞爺湖町の人口は、年間でおおよそ120人が減となり、今後10年間で1200人が減ることが予想される。
- ・虻田中学校の跡地利用についてどうするか。
- ・保護者や地域住民との合意形成をどうするか。

会議では、虻田中学校の現状と課題について具体的な議論が行われ、新設する案、虻田高校の活用案、虻田小学校への移転案のうち、移転後の施設運用に関する具体的な課題の整理や一部改修の必要があるが、虻田小学校への校舎移転が現実的であると考え、今後、具体的な課題の整理をしていくことを確認した。

また、体育館やグラウンド等の使用方法について、教育活動に十分なスペースが確保されるかどうかという声も聞かれたが、道内の小中一貫教育校での事例が紹介され、様々な工夫による学校運営について共有された。

加えて、移転に伴う不安や心配事を丁寧に聞き取った上で解決策を検討すべきであるとの認識を共有し、児童生徒・保護者向けアンケートの実施について確認された。アンケート対象は、虻田小学校・温泉小学校の3年生以上の児童とその保護者、虻田中学校の全ての学年の生徒とその保護者、さらに、将来、虻田小学校に進学が見込まれる保育所並びに幼稚園に通う4・5歳児の保護者とした。次回の会議では、アンケートの回答を踏まえた更なる課題の整理を行うことを確認した。

2 第2回

- (1) 日 時 令和6年7月2日（火）
- (2) 場 所 洞爺湖町役場3階 防災研修ホール
- (3) 参加者 12名
- (4) 内 容
 - ① 開会
 - ② 会長あいさつ
 - ③ 議事
 - ア 報告事項

(ア) 虻田中学校校舎移転に係るアンケート調査結果【資料1】

(イ) 虻田中学校教職員の意見【資料2】

イ 協議事項

(ア) ソフト面・ハード面の内容について

(5) その他

今後の進め方について

(6) 閉会

(7) 会議概要

事務局から、虻田中学校校舎移転に係るアンケート調査結果、及び虻田中学校教職員の意見について、次のとおり報告が行われた。

【アンケート調査結果の報告】

- ・アンケート調査の回答率は、小学校児童（虻田小＋温泉小）66.9%、小学校保護者（虻田小＋温泉小）12.4%、虻田中学校生徒66.9%、虻田中学校保護者8.5%、保育所・幼稚園保護者が18.5%、であった。
- ・アンケートの結果においては、中学校の老朽化を考慮して早目の移転を望む声がある一方で、不安や心配点もあげられていた。また、中学生との交流を楽しみにする児童の意見もみられた。

(ハード面)

- ・増築をするのか、それとも余っている教室を使用するのか。
- ・建物を有効活用してほしい。
- ・トイレの数が足りないと思う。
- ・教室や体育館の広さは大丈夫か。
- ・夏場の冷房設備についてどうするのか。
- ・部活の部室の確保や練習場所がどうなるのか。
- ・高圧線の電磁波や新建材の使用による健康リスクが懸念される。
- ・学校行事時の駐車場の確保は大丈夫か。

(ソフト面)

- ・子どもの成長を長い期間で見守り、連携の取れた対応が可能となるので期待している。
- ・小中の先生たちが同じ建物にいて情報交換しやすい。
- ・幅広い年齢層でのコミュニケーションが図られる。
- ・子どもたちの個性や学力についての共有ができる。
- ・服装はどうなるのか。

- ・小6から中1への気持ちの切り替えが心配である。
- ・小学生と中学生がどのように生活させるのか。
- ・行事、授業時間のずれをどうするのか。
- ・体育館やグラウンドの割当や使用の仕方、休み時間の割当等。
- ・音楽室や家庭科室の使用について。
- ・部活動などの放課後の活動に支障はないか（体育館、グラウンド）
- ・運動会や体育祭のやり方について。
- ・学習発表会や学校祭のやり方について。
- ・チャイムはどうするのか。
- ・卒業しても実感が湧かず、進学喜びが薄れてしまう。
- ・高学年になった時にリーダーシップを発揮できるかが不安。
- ・休み時間に共有スペースでの怪我が心配である。
- ・一緒に遊んだり学んだりするのは楽しそう。
- ・みんなと遊べるし楽しい生活ができる。
- ・お世話してくれそう。優しくしてくれそう。
- ・小中で交流できるのは良い。
- ・みんなで遊びたい。
- ・いじめが不安。児童・生徒のいざこざ、トラブル
- ・廊下で喋ってうるさいことが多そう。

(心配される点)

- ・温泉小との関わりをどうするか。
- ・温泉小から虻田中に行く人はどうなるのか不安。小学校から一緒にするべき。
- ・小中一貫校にしてほしい。
- ・家から遠い。自転車またはバスを許可してほしい。
- ・家から2キロ位で、疲れ果てて登校し、その後の授業はつらい。自転車通学をしたい。
- ・朝、虻田小学校前の道路が混雑する可能性がある。
- ・下校時に、玄関前の道路に迎えの車が列になっている。
- ・中学校跡地の活用をどうするのか。
- ・中学校の跡地を観光地や遊び場などにしたい。
- ・プラスの気持ちになれるような移転計画にしてほしい。
- ・小中学校の先生たちの目の届く教室で学童保育を行ってほしい。
- ・急いでいる感が強い。
- ・全て決まってから困る事がでてこないか心配である。

- ・不安、最初から洞爺中学校に行くことは選択できるのか。
- ・デメリットについては聞いた記憶がない。それが不信。
- ・もう少し先のビジョンをもってほしい。
- ・今いる子やこれからの子がしっかり教育を受けられる環境を作ってあげてほしい。

【虻田中学校教職員の意見の報告】

(ハード面)

- ・中学校の職員室は2階が望ましい。
- ・特別支援教育の教室や技術室の確保。
- ・黒板の位置が低い。
- ・3学年に対してトイレが1か所しかない。
※授業間の時間的余裕がなくなる。
- ・不登校生徒等対応の学習室の確保。
- ・カウンセリングに使用できる教室の確保。
- ・教室の個数は大丈夫だろうか。
※現在、小学生で一番多い学級が中学校に入学した時点も踏まえ
- ・理科室の収納棚の設置を要望する。(※薬品を補完する棚等)
- ・校舎内の廊下が全体的に暗い。
- ・体育館は複数の部活が入れるようにしてほしい。
※体育館を仕切る防球ネットを設けてほしい。
- ・体育館の床のラインを小中で併用できるよう追加してほしい。
- ・バスケットゴールの高さについて。(※できれば上げ下げが自動でできるものにしてほしい。)
- ・中学校で使っている体育用具の保管場所はどこになるのか。
- ・部活動の部室があれば着替え場所などを確保できる。
- ・部活動の用具、備品を片付ける場所がほしい。
- ・駐車場の数が少ない。
- ・職員室の場所にもよるが、小中で分けるほうが望ましい。
- ・各部屋の鍵はどちらの管理になるか。
※鍵を増やすのであれば、各部屋共通キーにできないか。

(心配される点)

- ・校舎の見回りは小・中どちらになるか。

【委員からの主な意見】

(ハード面)

- ・ハード面での改修をした時の予算の兼ね合いについて
- ・ハードでは教室が足りているのか、足りなければ増設しなければならないと思う。
- ・小学生と中学生を隔てるのではなく、交流できるようなハード面を考えて作っていき、そこから徐々に小中一貫校を目指すべき。
- ・図書室を交流の拠点とされている事例もある。また、図書室でなくても何かプレイルーム的な部分でも考えられる。
- ・小中一貫教育のハードをつくっていくほうが良いのではと思う。
- ・小中一貫教育にしてからハードを直すのではなく、小中一貫教育を見据えて直していったほうがよいと思う。後々慌てることもないように。
- ・小中一貫教育となれば、温泉小の児童も入ってくる。その部分のキャパも踏まえて、通常の教室と特別教室が確保できるか。ハード面をしっかりと見据えて行ってほしい。
- ・冷房完備について、現状の進捗状況はどうなっているのか。

(ソフト面)

- ・アンケートでは一緒に楽しく遊ぶ世話をしてくれそうだという意見が多い。
- ・小学生は中学生のお兄ちゃんやお姉ちゃんに期待していると思う。
- ・小中学校が一緒になるのだから、デメリットばかり考えないで、メリットを一生懸命に考えていくべき。

(心配される点)

- ・虻田中校舎は限界にきているから、小中一貫教育にしますと保護者に明確に知らせる必要がある。
- ・早急に移転すべき。有珠山の噴火を考慮すると、防災対策についても考える必要があると思う。命に関わる問題でもあり、もし1977年時のように山頂噴火が起きたら大変な事態になる。
- ・部活動の地域移行についても、考えていかなければならないと思う。
- ・現状の虻田中学校のグラウンドや体育館の利活用についての検討が必要である。

アンケート調査結果及び虻田中学校教職員からの意見をもとに、校舎施設といったハード面と教育内容等に関わるソフト面の課題を整理するとともに、教職員からの意見については、今後の校舎移転に向けた参考材料として取り扱うこととした。

また、小中一貫教育の導入と推進という視点からの意見も出され、長期的な教育環境の整備についての議論が行われた。

3 第3回

- (1) 日 時 令和6年7月25日（木）
- (2) 場 所 洞爺湖町役場3階 防災研修ホール
- (3) 参加者 11名
- (4) 内 容
 - ① 開会
 - ② 会長あいさつ
 - ③ 議事

会議では、校舎移転に関する報告（案）を全体で見直し、気になる点や修正箇所を確認した。校舎施設や教育内容の課題については、保護者や教職員からの意見をもとに、教育委員会と学校で協議しながら、令和8年4月を目途に虻田中学校を虻田小学校内に移転することを確認した。

最後に、委員の意見を踏まえ、協議会としての報告が教育長に提出されることで確認された。

【委員からの主な意見】

- ・小中一貫教育の導入と校舎移転が混同されないよう、住民への周知と説明が必要となる。
- ・令和8年4月スタートで準備は整うのか心配である。
- ・工事は長期休業中に実施し、授業に影響を与えないように進めるのか。
- ・経費をかけないのは理解できるが、少しでも予算を充ててほしい。

《校舎移転に係る地域協議会の考え方》

虻田中学校校舎の老朽化への対応については、これまで、校舎の建替えや虻田高校校舎の活用など、様々な方策が検討されてきた経緯があるものの、いずれも実現に至っていない。

このような中、

・令和4年度に行われた地域別教育懇談会でのアンケート結果において、

「虻田小学校校舎を改修し、小中一貫教育も視野に入れながら合築校舎とする」との回答が約76%であったこと

- ・地域協議会設置前の関係者による2回の協議において「課題はあるものの、生徒の安全確保のため（虻田中学校を虻田小学校校舎内に移転することは）やむを得ないのではないか」との賛同が得られたこと
- ・その後、町民を対象とした3回の説明会においても、いくつかの心配や課題についての指摘があったものの、移転そのものについては概ね理解を得られたこと

等を踏まえ、地域協議会においては心配される点や課題を整理するとともに、課題解決に向けた協議を進めてきた。以下、協議会における検討結果を示す。

まず、現状において、生徒の安心・安全な教育環境を早期に確保する等の観点から、虻田中学校を虻田小学校内に移転することが望ましいことを地域協議会として結論付けた。

主な理由として、

- ・有珠山噴火のリスク（特に頂上噴火に伴う火砕サージ）を考慮すると、生徒の命と安全を守るための防災対策が必要である
- ・アンケート調査結果から、小学生は中学生と一緒にすることへの期待が大きく、一緒にいるのだからメリットを考えていくべきである。

といった点が確認され、全委員の同意を得た。

次に、校舎施設等のいわゆるハード面については、教室等の増設や配置、トイレ等の改修、冷房設備や駐車場の確保等について、委員はもとより、アンケート調査結果や教職員の意見からも多くみられたところである。

これらの点については、学校施設に係る法的基準に則るべきもの、実際の教育活動に即すべきもの、将来的な小中一貫教育の導入を見据えるべき

もの、そして、財源確保を考慮しなければならないこと等から、挙げられた多くの意見をもとに、教育委員会と学校現場において協議を行い、必要な改修等を進めていくことが望ましいと考えた。

次に、教育内容等のいわゆるソフト面については、授業時間のズレ（時間割やチャイム）、教室等の割当（特別教室、体育館、グラウンド等）、部活動等の放課後の活動、学校行事の方法、小学校から中学校への進学の日目、年齢の違いによる生徒指導上の問題等について、委員はもとより、アンケート調査結果や教職員の意見からも多くみられたところである。

一方で、児童のアンケート調査結果からは、「一緒に遊んだり学んだりするのは楽しそう」「お世話してくれそう。優しくしてくれそう」「みんなで遊びたい」など、中学生と一緒にの学校生活への期待の声もみられた。

これらの点については、他の小中一貫教育校の実例なども参考としながら、実際に教育を司る教職員に、課題解決やより良い教育活動の在り方についての検討を委ねることが望ましいと考えた。

その他、

- ・ 中学校から同じ校舎で学ぶことになる温泉小学校児童との関わりについて十分な配慮を行うこと
- ・ また、将来的に小中一貫教育の導入を見据えているのであれば、温泉小学校区との協議について検討が必要であること
- ・ 虻田中学校の校舎跡地の利活用についての検討を進めること

等の意見も出された。

これらの点については、現在、別途協議が進められている洞爺湖町教育行政審議会からの答申等を踏まえながら、教育委員会が主体性を発揮し、課題解決に向けた取組を進めることが必要であると考えます。

以上、虻田中学校の校舎移転が、子どもたちにとって安心・安全かつ魅力ある教育への方途として、また、洞爺湖町教育の一層の充実・発展に寄与することを心から願い地域協議会としての報告とする。

《 虻田中学校校舎移転に係るアンケート調査結果【資料 1】 》

1 調査の目的

虻田中学校の校舎移転に係って期待すること・心配、不安点を洗い出し、今後の協議に活かすため

2 調査対象

- ・ 保護者
(虻田中学校、虻田小学校、洞爺湖温泉小学校、とうやこ幼稚園、本町保育所、入江保育所、桜ヶ丘保育所)
- ・ 生徒
(虻田中学校生徒)
- ・ 児童
(虻田小学校と洞爺湖温泉小学校の3年生以上)

3 調査方法

学校を通し、案内をマチコミに配信。QRコード(又はURL)からアンケートの回答を行う

4 アンケート内容

- (1) 中学校の校舎移転に係る期待について
- (2) 中学校の校舎移転に関する心配・不安点について
- (3) その他

5 調査期間

令和6年6月5日(水)～令和6年6月21日(金)
(24日(月)まで期間延長)

6 回答状況

- (1) 保護者
 - ・ 虻田中学校 9件/106件中 回答率 8.5%
 - ・ 虻田小学校、洞爺湖温泉小学校 26件/210件中 回答率 12.4%
 - ・ とうやこ幼稚園、本町保育所、入江保育所、桜ヶ丘保育所 10件/54件中 回答率 18.5%
 - (2) 生徒 71件/106件中 回答率 66.9%
 - (3) 児童 81件/121件中 回答率 66.9%
- 回答件数/調査件数

《保護者からの意見》

- ・古い校舎ですし、噴火の心配もあるところにいつまでも生徒をおいておくのが不思議です。
- ・一刻も早く、移転すべきだと思います。
- ・移転による安心・安全な設備や環境の構築。
- ・中学校の老朽化を考えると早めの対応が必要かと思いますので、良いと思います。
- ・虻田中学校はかなり建物が古く、アスベスト問題も聞かれていた。建物で言うと新しくなるし、小
学校の空いている教室も無駄にならないので、良いと思う。中学校跡地も子供達のために使え
れば、より良いと思う。
- ・狭小にならないのであれば特にありません。
- ・体育館やグラウンドの使用の仕方、授業の時間が違うのでチャイムの鳴らし方、小学生と中
学生を敷地内で合わせないようにするのか、あえてごちゃませにするのか。
- ・学校行事などで9学年分の駐車場の確保は可能でしょうか。
- ・教室の広さはどうなのでしょう。中学校と同じくらいの広さなのでしょう。中学生にとって窮
屈
にはならないのでしょうか。
- ・小中一貫校としての移転ではないと聞いている。しっかり小学校、中学校を分けていただか
ない
と不安しかない。
- ・時間ごとのチャイムはお互いに聞こえないようにできるのか。
- ・教室や体育館、その他の設備の大きさが対応しているのかどうか。虻小の方が、程度がいいの
かもしれませんが、いっそのこと虻田高校の校舎へは移転できないのか。
- ・体育館、グラウンドの割り当て。行事、授業時間のずれ。
- ・移動教室の使用数の減少。行事の減少。
- ・小学校も古いのになぜそこに入れるのかわからない。
- ・学校の近くに高圧線（WHOでも高圧線の電磁波による白血病等病気のリスクが上昇すること
認めてられています）があること、アレルギーがありリフォームにより新建材が使われてしまったら
健康被害が出て学校へ通えなくなる。何より子ども達の健康の為に、リフォームするなら新
建材を使うとアレルギーや化学物質過敏症の子どもが増えてしまうので、極力安全な建材を
使
って頂きたいです。
- ・夏場の冷房の完備。各教室に必ず必須。
- ・学業に専念できる環境、クーラーなどの設備。
- ・教室の冷房設備の早期完備。

《生徒からの意見》

- ・クーラー。
- ・校舎がきれいだから楽しみ。
- ・エアコン。
- ・広いし綺麗。
- ・体育館を広くしたい。
- ・虻田中学校よりもきれいかどうか。
- ・トイレ。
- ・トイレの数
- ・音楽室や家庭科室などの使用について、また休み時間の割当て。
- ・教室を増やす

《児童からの意見》

- ・体育館の割り当てがどうなるのか心配。
- ・保健室や普通の教室は一階と二階で分かれるのか。増築などをするのか、そのまま余っている教室を使うのか。
- ・教室。
- ・教室、トイレが足りなくなる。
- ・体育館の割当てがどうなるのか。
- ・今の学校の広さで移転したら教室が足りるのが不安。
- ・トイレが混みそう。
- ・体育館の割り当て。
- ・自分たちが体育館でいつ遊べるのか。

学習

《保護者からの意見》

- ・学力の向上
- ・授業時間や休み時間が違うことで騒がしさ(チャイムの関係)など授業に影響はないのか？
- ・小学生の時の感覚で学業に集中できない。

《生徒からの意見》

- ・懐かしい風景でテンションが上がって、やる気が出そう。
- ・授業時間(人数が多いから)。
- ・テスト期間に騒がしい声とかで集中出来なくならないか気になります。

《児童からの意見》

- ・低学年に勉強教えたい。
- ・勉強を一緒にやりたい。
- ・勉強を教えてもらいたい。
- ・上下関係を学べる、色々教えてくれそう。
- ・勉強中うるさくなる。
- ・掃除や勉強。
- ・勉強とか教えてもらいたい。
- ・勉強の評価について。
- ・授業中うるさくならないか。
- ・テストの点数を取るのが難しい。
- ・小学校の子が授業中にうるさくすること。
- ・中学生の人達が低学年の声で勉強に集中できるかどうか心配。
- ・勉強が不安。
- ・評価。

部活動・課外活動・行事

《保護者からの意見》

- ・部活動の活動等どのようにするのか？想像がつかない。
- ・部活動などの放課後の活動などに支障がないか。
- ・中学校の部活動だけでも体育館が足りていない状況だが、一緒にした場合大丈夫なのか。
- ・学童保育。

《生徒からの意見》

- ・部活。
- ・部活動時等の体育館使用。
- ・部活の部室があるのか心配です。
- ・中学校部活などをする場所。

《児童からの意見》

- ・中学校の部活に参加したい。
- ・運動会や体育祭を中学生と小学生でやってみたい。
- ・体育祭。
- ・運動会が少し不安。
- ・運動会や学習発表会がどうなるか不安。
- ・せまいと思う。運動会や体育祭がどうなるのか。
- ・それぞれの行事はどうなるのか。

- ・中学生だけでやる行事はどうするのか。
- ・部活。
- ・部活はどこでやるのか。
- ・運動会や学習発表会と一緒にやるのか。
- ・部活などで体育館を使うとき、体育館が中学校より小さいのでしっかり運動できるか。

生徒同士の交流

《保護者からの意見》

- ・上の子どもがちょうど中学 1 年生になった時に下の子が小学生なので同じ場所で学び同じ場所で過ごしてると思うと安心もするし良いなと思います。
- ・幅広い年齢層でのコミュニケーションが図れる。
- ・年上の子、年下の子と、交流が増えるのは良いなと思います。
- ・兄や姉がいると小さい子たちは安心かなと思います。
- ・卒業式をしても卒業した感じがわからない
- ・いじめ
- ・高学年になった時にリーダーシップをとる力がつくのか不安です。
- ・問題なく小学校、中学校でやっていけるのか不安です。イジメとかする子がでてきそうです。
- ・小学校と中学校の節目がなくなり、進学する喜びがなくなる可能性がある。
- ・小学生が中学生の行動や言葉遣いなど真似をして悪影響にならなければいいと思う。
- ・生徒同士のいざこざが無ければと思う。
- ・休み時間、共有スペースでのケガ。中学生から小学生へのいじめ。行事の自由度(中学生ならできるが、小学生の危険性の配慮ができない)の低下。
- ・9年間で児童の人間関係の固定化。
- ・中学生もいるため、生徒の中でヒエラルキーで小学校 6 年生が 1 番上にいないのは、少しかわいそうと思う。
- ・小学生とのトラブル。
- ・通い慣れた場所なので本人は良いかもしれないが、中学生になったと言う感覚がなくなるような気がする。いつまでも小学生の気分だけで、成長出来ないのではないか。
- ・高学年になった時にリーダーシップをとる力がつくのか不安です。

《生徒からの意見》

- ・生徒同士の関わりが増えること。
- ・色々な人との交流。
- ・小学生との交流。
- ・虻田小学校生と虻田中学校生の間でトラブルなどが起こらないか心配です。
- ・後輩の態度。

- ・人が今より多くなること。
- ・テンションが上り過ぎて限度が超えちゃうことがありそう。
- ・小学生に先輩と呼ばせるのか。
- ・小学生との交流。
- ・小さい子どもがいるから危ないのが心配。

《児童からの意見》

- ・中学生の先輩たちとも一緒に遊んだり学べたりできるのは楽しそう。
- ・普通は中学校に行った友達とはなかなか会えないけどこのシステムだと会えるからよいと思う。
- ・みんなと遊べるし楽しい生活ができるようになって嬉しいです。
- ・一緒に遊ぶことです。
- ・楽しく遊びたい。
- ・一緒に遊べる。
- ・仲良くしたい。
- ・お世話してくれそう、やさしくしてくれる。
- ・中学生と一緒に遊んだりして関わりが増やせるならいいなと思います。
- ・授業や休み時間に交流できれば良い。
- ・小学生の新しい子や、交流をなにかしたい。学校でみんなで遊びたい。
- ・みんなと遊べる所にしたい。
- ・鬼ごっこや遊び。
- ・コマやけん玉。
- ・サッカーや鬼ごっこ。
- ・中3～小1の全員での交流。
- ・幅広い学年と遊べたりできるようになること。
- ・いじめなどが起きた時に、大人数に話を聞かなければいけないので大変だと思う。
- ・歳の差があるから中学生の小学生に対するいじめなども増えてしまいそうで少し心配。
- ・廊下が喋ってうるさいことが多そう。
- ・一緒に遊んだり仲良く出来るか不安。
- ・イジメがありそう、暴力する子がいそう。
- ・小学生と一緒にだと中学生が疲れそう。
- ・休み時間に遊ぶとき、ケガをするかもしれない。
- ・人見知りなので不安。
- ・転校生なので、以前の6年生とその前の6年生以外の顔を知らないので仲良くなれるか不安。
- ・中学生と仲が良いわけでもないので少し怖い。

- ・喧嘩や悪口。
- ・悪口や暴力。
- ・中学生と小学生の関わりについて不安。
- ・中学校の人が怖い。
- ・先輩後輩関係。
- ・いじめや言葉づかい。
- ・けんか。
- ・年齢差別がありそう。
- ・まだ知らなくていい事を知ってしまいそう。揉め事が起きそう。
- ・うるさくなるかもしれないから不安。

教職員

《保護者からの意見》

- ・こどもの成長を長い期間で見守り連携の取れた対応が可能になるのではと期待します。
- ・小中学校の先生達と同じ建物内にいることで情報交換しやすい。
- ・子供達の個性、学力の把握、共有。
- ・学童保育の先生達の見直し。
- ・生徒数が増えることで先生の負担が増えその分一人一人の対応が取れるのか少し心配です。

《生徒からの意見》

- ・小学校の先生との交流。
- ・小学校の時の先生に会うのか。

《児童からの意見》

- ・特になし

その他

《保護者からの意見》

- ・学校教育の予算の拡充。
- ・小中の先生達の目の届く教室に学童保育を。
- ・小中一貫校にしてほしい。
- ・家から遠い。自転車、バスを許可してほしい。

《生徒からの意見》

- ・通学が楽になる。

- ・家から2キロぐらいで、疲れ果ててその後に授業はきついで自転車通学をしたい。
- ・遠い。
- ・距離的な問題点。

《児童からの意見》

- ・服装はどうなるのか。制服がいい。
- ・中学校に行ってみたかった。

気になること

《保護者からの意見》

- ・具体的に何年後を想定しているのでしょうか。
- ・朝、混雑しそう…
- ・子供の人数が減ってきて校舎が同じになるのは仕方ないことなのかもしれませんが、今は不安が多くメリットがよくわかりません。ただ不安です。初めから洞爺中学校に行くことを選択できるのか知りたいです。出来ないのであれば選択できるようにして頂きたいです。
- ・特にありません。
- ・気持ちの切り替わりもないまま高校へと進む気がする。高校生になったときの環境等の事を考えると校舎と一緒にするのはあまり気持ちが進まない。
- ・下校。
- ・小中一貫校にする話もありましたが、温泉小との関わりはどうなるのか。
- ・洞爺湖温泉小学校から虻田中学校に行く人はどうなるのかが気になります。安心して通えると思います。書いてますが、不安しかないと思います。それなら小学校から同じにするべきだと思います。温泉小学校から虻田中学校に行く時も不安だったのに、もっと心配です。
- ・下校時に、玄関前の道路に迎えの車が列になっていること。
- ・メリットもデメリットも特に感じないのでこんなメリットがあったんだとプラスな気持ちになれるような移転計画にして欲しいです。期待しています。
- ・温泉小と虻小を合併してほしいです。
- ・財政が豊かではない町なので、建物を有効利用した方が良いと思います。
- ・メリットは聞かされているが、デメリットについては聞いた記憶がない。それが不信。凄く急いでいる感が強く、全て決まってから困る事が出てこないか心配。後は学校で決めてください、という

事にはならないか心配。行事などについても、後から決めていくのではなく、こうなりそうだと先に知
 らせて欲しい。もし、子供達が思っていた事と違う！ガッカリした！とならないように。
 ・もう少し先のビジョンを持って進めてほしい。お金がないからで済まされる問題ではない。今いる
 子やこれからの子がしっかり教育を受けられる環境を作ってあげてほしい。

《生徒からの意見》

- ・いつ移行するの。
- ・いつからなるのでしょうか。
- ・いつ頃になる見込みはあるのか。
- ・部活でどこを使うのか、部活の準備をするところはどこなのかなどが気になる。
- ・中学校はこれからどうなるんですか。
- ・使わなくなった中学校を観光地や遊び場などにしたいです。
- ・学校祭は今までのように出来るのか気になります。

《児童からの意見》

- ・中学生と何か一緒にやることがあるのか気になる。
- ・洞爺の子も一緒にこの虻田小学校でやるのか。
- ・学校の様子。
- ・中学校が古いか。
- ・校長先生は2人いるのか。制服はあるのか。
- ・今の中学校が移転したら今の中学校のところはどうなるのか。

《虻田中学校教職員の意見【資料2】》

	該当場所	懸念事項	要望・修正等
1	技術室	必要。できれば1階で、大型の機械が入られるようにしてほしい。	畑もあるので中庭の近くに配置してほしい。プレハブでもよいかもしれないが、電気と水の確保が必要になると思います。 機械など、危険な道具も多いので、カギのかかる準備室なども希望したい。
2	SC室	中学校が拠点校となっているカウンセリングに使用できる教室の確保	

3	Lake Room	不登校生徒等対応の学習室 (LakeRoom)用の教室が必要	
4	教室	黒板の位置が低く、中学生用の高い机が入ると、黒板の下部が見えなくなる	①黒板の位置を上げる、または可動式が望ましい。 ②もしくは、黒板⇒ホワイトボードへの変更 ※色弱対応や防塵対策 ③ホワイトボードは投影用スクリーンの代用にもなるが、教室が狭いためプロジェクター設置場所の確保が難しい。天井からの吊り下げ常設が望ましい。
5	教室	現在虻田小学校で一番児童数が多い学級が中学生になった時、温小児童と合わせ40名(+支援学級生徒)近くかそれ以上の1学級人数になることが想定される。中学生の体のサイズや机の大きさ、個人ロッカー等を考えると、窮屈になることが考えられる。	
6	理科室	理科室の収納が少ない。特に薬品など、予算も違うし劇薬などがあるので、別の棚が必要かと思われる。	中学校からの移設希望。薬品棚(2~3を準備室に)。器具用の棚(2~3を教室後ろに?)
7	校舎内廊下	校舎内の廊下が全体的にやや暗いように感じた。	廊下の電球のサイズを大きく(長く?)して明度を上げることができればいいなと思った。
8	トイレ	3学年に対してトイレ1カ所はトラブル、時間的余裕がなくなるように感じる。	トイレの数を増やしてもらいたい。
9	体育館	複数の部活が入れるようにしてほしい。	体育館を仕切る防球ネットがほしい。ラインの引き直し・支柱用の穴の移動なども必要。
10	体育館	体育館床の各種競技に使用するラインですが、現在小学校のみのものであれば、小中で併用できるラインを書き加える必要がある。	

11	体育館	バスケットボールのゴールが天井部のものも含めて6つあるが、全て小学校規格なのでしょうか。(天井部分の物はみいてませんが)	・今後小中学生の併用や地域開放で使用する機会のことを考えたら、可動式にした方がいいかもしれない。 ・小学校と中学校でゴールの高さが違うので調整してもらいたい。また、上げ下げ可能なゴールは手動ではなく自動にってもらいたい。
12	器具庫	中学校で使っている体育用具を保管できる場所があるか。	用具の整理と器具庫の拡大が望ましい。
13	部室	部活がそのときまで残っていると、各部活の部室があると部の用具や着替え場所などを確保できる	部室の創設か体育館開放で使っているスペースを空けてもらいたい。
14	部室	各部活の備品を片付ける場所が欲しい。	
15	駐車場	職員に対しての駐車場の数が少なすぎる。	新しく開設など対応してもらいたい。
16	職員 玄関	保護者対応等を考えると狭い。	職員室の場所にもよるが、小中で分けることが望ましい。
17	施設 管理	各部屋のカギはどこ管理になるのか？ 小・中双方の職員室保管場所が必要になり、現状の倍必要になるのか	カギを増やすのであれば、各部屋共通キーに切り替えることはできないか。
18	施設管 理	校舎の見回りは、小・中どちらで行うのか。 ※放課後の日程も違うので(部活等)。	今後 SECOM 等が導入される場合、双方の職員室で職員の退勤状況を確認し合う必要がでてくる(業務増量)。SECOM 導入は難しいのではないか。

洞爺湖町立虻田中学校校舎移転に係る地域協議会委員名簿

	所 属	職 名	氏 名	備 考
1	洞爺湖町立虻田小学校	校 長	横 山 慎 二	
2	洞爺湖町立虻田中学校	校 長	鈴 木 恭 朗	
3	洞爺湖町立洞爺湖温泉小学校	校 長	柴 田 暦 章	会長
4	虻田小学校 P T A 会長	会 長	星 野 直 樹	
5	虻田中学校 P T A 会長	会 長	長谷川 尊 裕	副会長
6	洞爺湖温泉小学校 P T A 会長	会 長	高 橋 洋 一	
7	虻田小学校学校運営協議会	会 長	舘 岡 恵 一	
8	虻田中学校学校運営協議会	会 長	増 山 顕 佑	
9	洞爺湖温泉小学校学校運営協議会	会 長	荒 町 美 紀	
10	入江 4 区自治会	会 長	佐 藤 義 昭	
11	本町 5 区自治会	会 長	石 川 諭	
12	洞爺湖町	経 済 部 次 長	篠 原 哲 也	
13	洞爺湖町	上 下 水 道 課 長	宮 古 義 信	

(敬章略)

洞爺湖町立虻田中学校校舎移転に係る地域協議会設置要綱

(目的)

第1条 虻田中学校校舎の老朽化に伴い、生徒等の安心安全な教育環境の早期の確保に向け、校舎移転に係る課題等を協議、調整するため、洞爺湖町立虻田中学校校舎移転に係る地域協議会（以下「協議会」という。）を設置する。

(所掌事項)

第2条 協議会は以下の事項を所掌する。

- (1) 校舎移転に係る課題等の洗い出し並びに方針の策定
- (2) その他校舎移転に関し必要なこと

(組織及び委員)

第3条 協議会の組織は次に掲げる者の中から、13人以内をもって組織し、教育長が委嘱する。

- (1) 虻田小学校、虻田中学校及び洞爺湖温泉小学校（以下「関係学校」という。）の関係者
- (2) 関係学校の保護者
- (3) 関係学校の学校運営協議会
- (4) 行政関係者
- (5) その他、教育委員会が適当と認める者

(任期)

第4条 委員の任期は、第2条第1号の方針策定終了までの期間

(会長及び副会長)

第5条 協議会に、会長、副会長各1人を置き、委員の互選によりこれを定める。

- 2 会長は、会議を招集し、会議の議長を務める。
- 3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときはその職務を代理する。

(会議)

第6条 協議会は、委員の過半数が出席しなければ、会議を開くことができない。

- 2 協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の

決するところによる。

- 3 委員以外の者に出席又は意見を求めることができる。
- 4 関係学校の児童会、生徒会に提言を求めることができる。

(庶務)

第7条 協議会の庶務は、洞爺湖町教育委員会事務局において処理する。

(その他)

第8条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は、洞爺湖町教育委員会教育長（以下「教育長」という。）が定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この要綱は、令和6年5月1日から施行する。

(会議の招集の特例)

- 2 協議会の最初の会議は、第5条第2項の規定にかかわらず、教育長が招集する